



広報

しんち

6

1995. No.288

◎発行と編集／新地町役場・企画振興課(〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 ☎0244622111・FAX623194)



記念緑地で 「鹿狼山親子ふれあい教室」開催

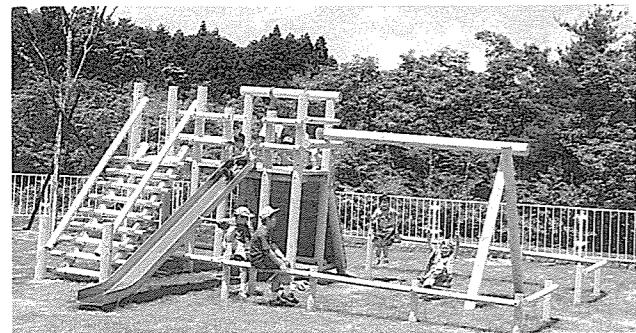
オープンしたばかりの相馬地域開発記念緑地で、5月27日、「鹿狼山親子ふれあい教室」が早速行われました。展望台からパノラマに広がる太平洋や火力発電所を一望した子供たちは、うれしさを隠しきれないといった表情。教室では、クイズを組み入れたウォークラリーなどのリクリエーションを親と子が一緒になって、楽しいひとときを過ごしました。

主な内容

相馬地域開発 記念緑地開園式	2～3
歴史の道を歩こう	4～5
保健だより	6～7
町の話題	8～9
お知らせ	10～11
みんなの広場	12～13

相馬地域開発記念緑地 オープン

グリーンワールドへおいでよ



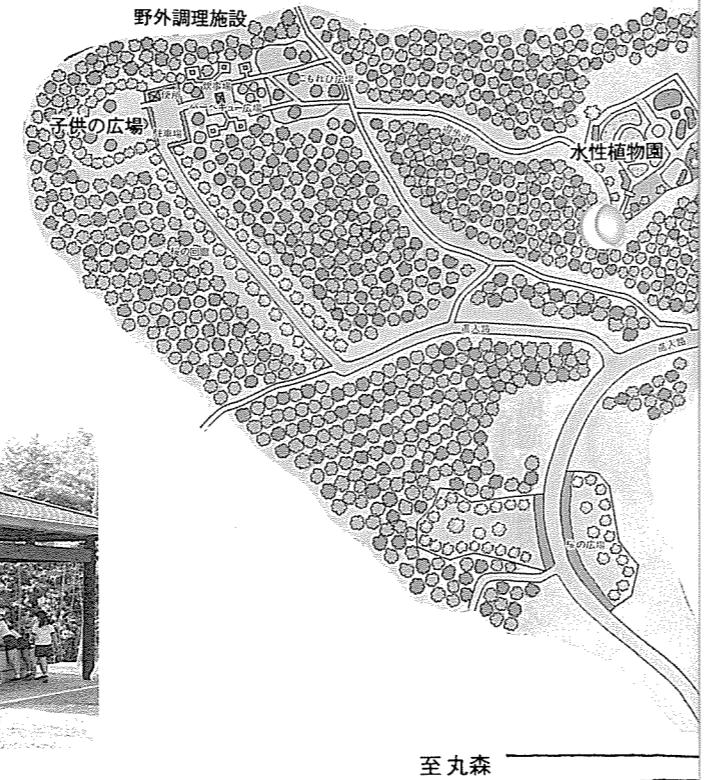
▲子供の広場



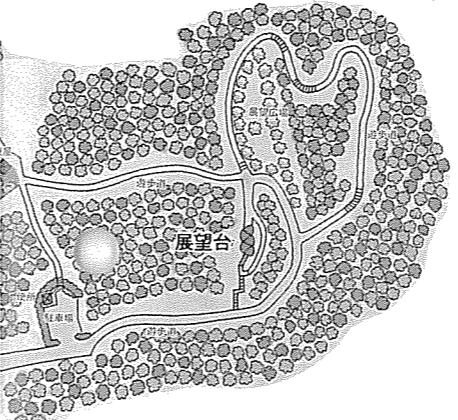
▲バーベキュー広場



▲野外調理施設



至丸森



新3万トン級岸壁供用開始 2号ふとうに



▲新ふ頭に入港した3万トン級大型貨物船

下の写真をご覧ください。二号ふ頭に斜めに入った野線が、新地町と相馬市の境界線になります。右側が新地町の町域で、二号ふ頭の一部から新地町であることが分かります。



相馬港なのに新地の港?

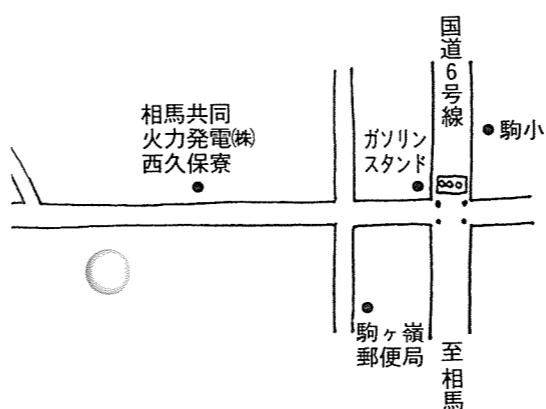
相馬港二号ふ頭北側に三万トン級岸壁（延長二四〇メートル、水深十二メートル）が完成、五月六日、第一船が入港しました。相馬港の公共ふ頭（一・二号ふ頭）では、三万トン級の大型船は、水深が七・五メートルだったため、外国から直接入港ができず、積み荷を各地の港に降ろし、最後の寄港地として入港していました。新ふ頭の完成で、三万トン級の大型船が外国から直接入港できるようになり、相馬港の利用拡大に大いに役立つものと期待されています。

▲記念植樹をする星県企画調整部長、荒町長、寺島町議会議長、緑の少年団長、



相馬地域開発記念緑地が、このほど完成し五月二十一日開園式が行われました。同緑地は、相馬地域開発を記念し、福島県が平成三年から電源三法交付金事業として、駒ヶ嶺西久保地内で工事を進めてきたものです。公園には、相馬港を一望できる展望台、水性植物園、子供の広場、野外調理施設があり、バーベキューなどを楽しむことができます。愛称グリーンワールドでの行楽を、また小糸なりラックスタイルなど、これから多いにご利用ください。

なお、野外調理施設をご利用される場合は、役場企画振興課（☎ ⑥2111）へお申込みください。皆さんがあつ遊びにいらした時にも、きれいな公園が迎えてくれるよう、ゴミの持ち帰りにご協力をお願いします。



▶水性植物園

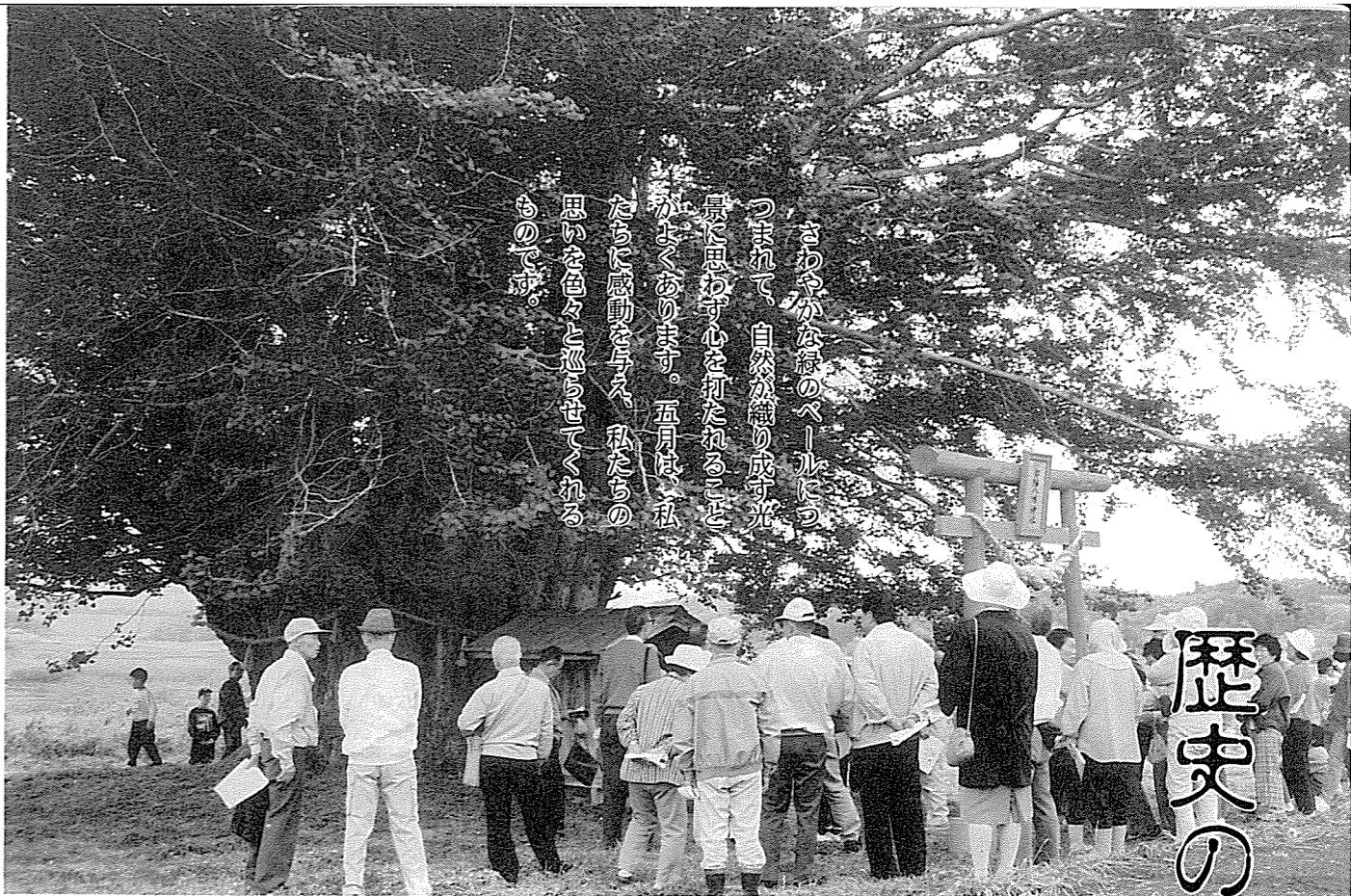


概要

・所在地	駒ヶ嶺字西久保	・事業費	約2億円
・敷地面積	約9.45ha	・問い合わせ	役場企画振興課 (☎ ⑥2111)

歴史の道を歩こう

色鮮やかに新緑が深まりゆく五月十四日、町の史跡をたずね歩く「歴史の道を歩こう」が行われました。主催は町教育委員会、共催は町郷土史研究会。当日は好天に恵まれ、約五十人が参加。県文化財保護指導委員の石原敬彦先生から三貫地貝塚や逆さイチヨウなど約六カ所の説明を受けながら、参加者らは伊達と相馬の歴史に思いをよせました。



今も残る藩境

五月十四日、午後一時半。高田公会堂に集合し、初めて伊達藩と相馬藩の境を見て歩きました。同公会堂から十分ほど南へ歩いて、国道百十三号線に交差する手前の道路のすぐわきの土手が当時の藩境。今は杉林になっていますが、当時からの藩境は今では高田でしか見ることができません。

逆さイチヨウ

(町緑の文化財)

相馬地方有数の名木
藩境を越え、国道一一三号線に出ると、目の前に大きなイチヨウが見えます。樹齢四百年とも七百年とも言われ、根回りで十二、四五メートル、樹高二十三メートルと町内は

おろか相馬地方でも有数の名木です。

石原先生は、天正十七年に伊達政宗が相馬氏の虚をついて新地と駒ヶ嶺を攻略し、そのとき国境として、持つていたイチヨウの枝をさしたもののが根付いたという逆さイチヨウの由来となつた「政宗伝説」や「大蛇伝説」「源頼朝の五里八幡伝説」などを説明しました。参加者らは大木を囲みながら、数々の伝説をもつ逆さイチヨウを興味深く見入っていました。

三貫地貝塚

(県指定史跡)

三貫地貝塚からは数多くの貝が出土され、縄文人の食生活は主に魚介類だったろうと思ひます。縄文人はグルメだった

推測されました。目黒町教育長の話では、東大で発掘された人骨の要素を分析した結果、一番多く食べたのは、イノシシ、鹿などで、二番目が魚介類、三番目が木の実、四番目が山菜だと分かっています。同貝塚からは奈良時代から平安時代の堅穴住居跡や、平安時代以降の建物跡も確認されたことから、広範囲の時代に及ぶ、重要な複合遺跡であることが判明しています。約二時間にわたり約六カ所を見終えた参加者は、心地よい汗をかきながら次回の開催を心待ちにしていました。



▲三貫地貝塚の説明を聞く参加者

参加者の声

後世に伝えたい



西谷紀子さん
(大戸浜)

大昔の人々が見て触れたものを見ることで、当時の人と共感ができる、当時の人が感じ取ることのすばらしさを実感しました。この味わいを未来の人にも感じ取ってほしいと思います。そのためにも現代に生きる人々が遺跡の重要性をもつと理解し、後世に伝えたいかなければならないと思います。参加された皆さんがあ熱心に聞いているのを見て、文化や遺跡に興味を持つている人が多いなど、思いました。私にとって、とても貴重な体験でした。

礼儀作法を学ぶ



菊地 茂さん
(16歳19代目現役)

代が替わる時には、四ヶ月間ほとんど毎日、先生方(前代の先輩)から指導を受けます。そこでは踊りはもちろんのことですが、「あいさつ」の大切さを学びます。神楽は、あいさつで始まり、あいさつで終わります。私自身も神楽

を通して礼儀作法が身についたと思います。今後とも、みんなと一緒に持つことができる神楽の楽しさと伝える、私自身もほこりに思います。ながら、練習に励んでいきた

いと願っています。

神楽と福田地区の人々とのび付きは、福田地区の氏神様を奉り、家庭の安全を祈願することでしょう。その他には、世代のコミュニケーションです。

神楽の精神は「原点を変えない」という気持ちで駆られ、表現力を付けたりなりますが、踊りを覚えていくにつれて、『神楽をもっと楽しく見せよう』という気持ちで駆られ、決して神楽の原形をかえてはいけないのです。なぜなら、先代人の心が神楽に込められているからです。その心を正確に後世に残すために、純粹でがれのない子供たちをあえて神楽師にするのでしょうか。

原形を大切に



佐藤 勉さん
(46歳氏子総代)

福田諏訪神社の春の大祭が五月三日同神社で行われ、氏子らが家内安全、五穀豊じょうを祈りました。県重要無形民俗文化財指定の福田十二神樂も披露されました。

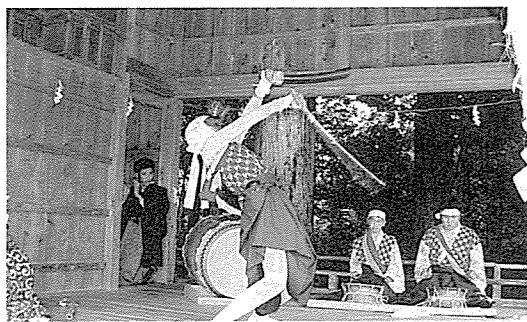
福田十二神樂は、江戸時代末期に伊具郡丸森町から伝授されてから百三十年以上にわたり、ほとんど神楽そのもの

の形態を変えることなく現在においても継承されています。神樂の継承は一代約七年で、福田地区の小中学生十二人が約百日の夜間練習を経て神楽師となります。

今回は、時代を越えて力強い息吹を今に残す「十二神樂」の精神について、神楽師のお一人に話を聞きました。

福田十二神樂

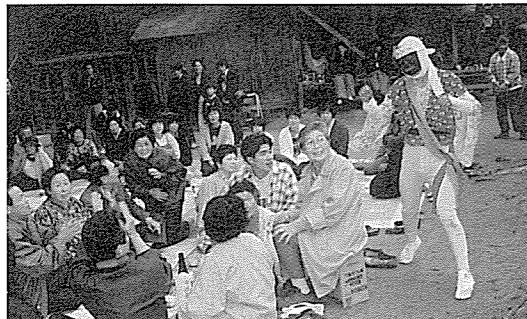
地区ぐるみで春の大祭



▲神楽殿で福田十二神樂を披露



▲みこしを担いで福田地区をねり歩く



▲地区ぐるみの大祭

保健だより

歯を大切にしましよう

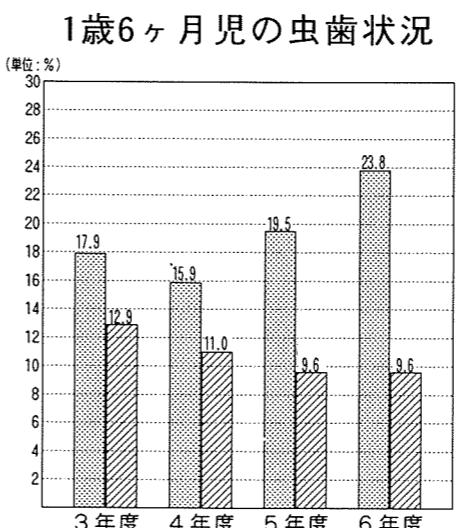
の衛生週間です。

「心がけ、ひとつでのびる、歯の命」がテーマです。

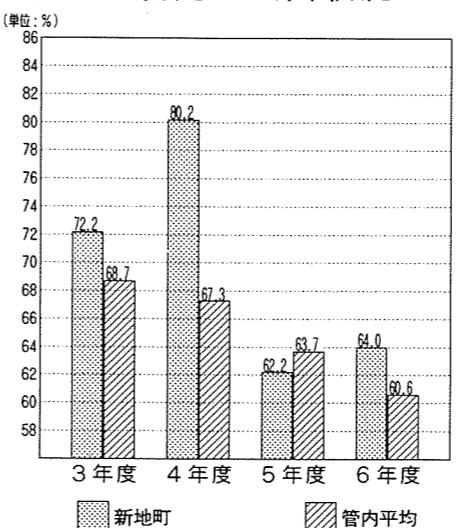
そこで、今回は、町の乳幼児の歯はどんな状態になつているのか、一歳六ヶ月児と三歳児の歯科健診の状況をまとめてみました。

4人に1人が虫歯

平成六年度の一歳六ヶ月児
歯科健診結果の虫歯り患者率
は、原町保健所平均九・六%



3歳児の虫歯状況



III

に対し、町では、二三・八%とかなり高い数値で約四人に一人は虫歯を持っていることがわかりました。

乳歯が初めて生えてくるのは、およそ生後五~六ヶ月頃ですが、それからわずか一年足らずで虫歯になっている状況です。

さらに、三歳児歯科健診では、以前に比べるとよくなっています。

ているものの、約六割の子供
が虫歯にかかっています。し
かし二十本ある乳歯が全部虫
歯というひどいケースは見ら

れなくなり、逆に虫歯が一本もない子供が増えてきています。虫歯を見つけたら、早い時期にきちんと治療を受けることも多くなってきているようです。

歴みがきの留標を

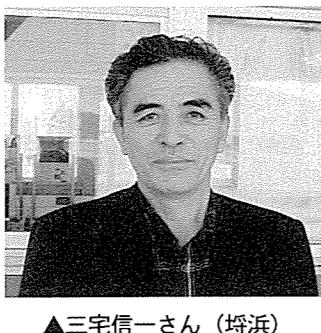
歯科健診を実施して感じることは、親は一日に二~三回歯みがきをしているのに対し、子供の方は、時々しか歯みがきしない、または、一日に一回だけというのが非常に多いことです。一日三回食べたら歯みがきをする習慣を子供にも身に付けてほしいなと思います。家族みんなで、子供たちの口の中に関心を持ち歯を大切にしましょう。

母と子の健康



- 母子手帳持参。●7～8ヵ月児健診は、通知がいきませんので予定表を見て受診ください。●該当する健診日に受けられた方が、翌日の健診日に受けましょう。

健康審査等	対象者	日(曜)	受付時間	場所
母子手帳交付	妊娠とわかったらなるべく早く、母子健康手帳の交付を	6／16(金)	9時～10時	新地町役場
7～8ヶ月児 健診	平成6年9月 ～10月生	6／12(月)	13時～ 13時15分	新地町
1歳6ヶ月児 健診	平成5年10月 ～11月生	6／19(月)	13時～ 13時15分	母子健康センター
日本脳炎	生後36ヶ月(3歳) ～90ヶ月 (7歳6ヶ月未満)	5／1(月) ～6／30(金) 月～土 (第2土曜除く)	8時30分～12時 2時～5時30分	遠藤 内科医院
1歳児相談	平成6年5月 ～6月生	7／5(水)	9時45分 ～10時	新地町 母子健康センター



▲三宅信一さん（坪浜）

太田さん長い間
ご苦労様でした

町では、平成七年度に駅の駐車場や駐輪場の設置など、駅周辺の整備を行う計画で、皆さんご利用しやすい駅に生まれ変わります。



▲退職された太田さんが寄付を進呈



横山和樹くん
(明地) 佐藤智貴くん
(釣師)



武澤廣征くん 渡部智也くん 東郷倫代ちゃん 森慶太くん
(釣師) (杉目) (堺浜) (杉目)



石田祐子ちゃん 中津川一氣くん 平川椋一くん
(新地町) (新地町) (小川)

5月15日の3歳児健診24人受診中虫歯のないお子さんは11人でした。

むし歯〇の なかまたち

町の話題

あなたの周りの身近な話題をお寄せください。



種苗市10周年

今年で10周年を迎えた種苗市が5月14日、農村改善センターで行われました。10周年の記念と御礼として約500本の花の苗をプレゼントしたところ、たちまち品切れになるほどの盛況ぶりでした。前日の大雨がうそのような天気で花や野菜の苗などを求める大勢の人たちで賑わいました。



「伊達と相馬の関」 合同テント村



安全運転を祈願

今年で第8回を迎える「伊達と相馬の関」テント村が5月11日、新地町と相馬警察署・宮城県山元町と亘理警察署の合同で、国道6号線の県境で行われました。「いざ出陣」とよろいかぶとに身を包んだ武者姿も登場し、交通安全を祈願した絵馬などを配り交通安全を呼びかけました。

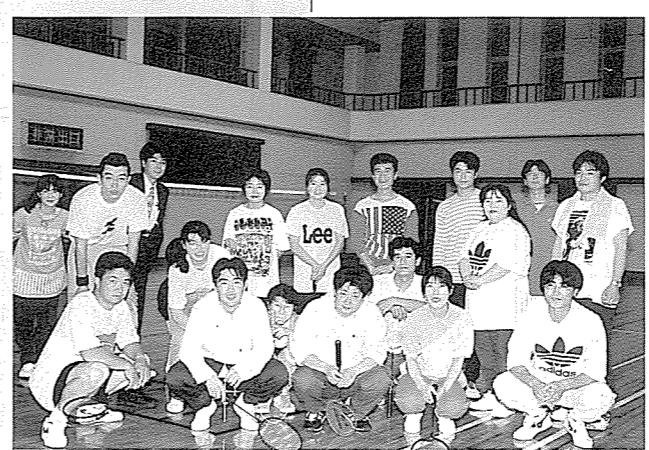


日本薬用植物友の会 片倉沢原生林を観察

日本薬用植物友の会相馬支部が5月21日新緑まつさかりの鹿狼山で片倉沢の原生林の観察会を行いました。会員約25人が参加、石田功一産業課長の説明を聞きながら鹿狼山に生育している薬草の木々を観察しました。木々の透き間から差し込んでくるこぼれ日を受けながら、やわらかい緑に包まれました。

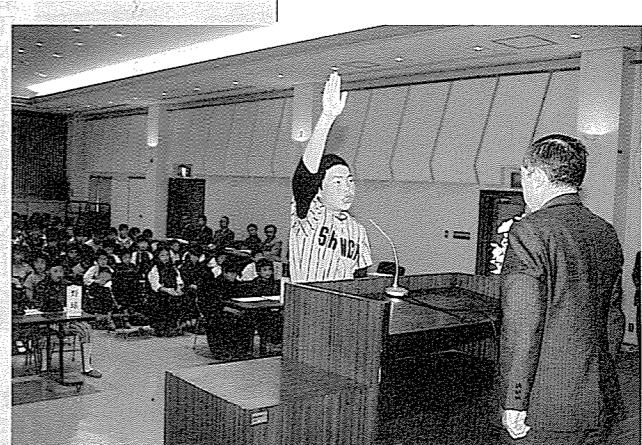
18歳以上の独身男女で編成されている「夢冒険'95」の開講式が5月14日農村環境改善センターで行われ、開講式の後は、バーミントンやインティアカなどを楽しみました。多くの若い方が気軽に集まるような場を作っていくこうと、アイティアあふれる色々なイベントも計画しています。皆さんも参加してみてはいかが?

「夢冒険'95」の扉を開けると みんなの笑顔に会えますよ



**甲高く響きわたり
スポーツ少年団結団式**

町スポーツ少年団結団式が5月14日、農村環境改善センターで行われ、7種目、約170人の少年団員が参加しました。式は日黒美津英教育長のあいさつの後、12チーム代表の斎藤謙乃さん(福田エンジエルス)に団旗が授与され、続いて日黒洋平君(新地小ブルーハリケーン)が団員を代表して宣誓をし、これからの活躍を誓いました。



お母さん、今日のメニューは?

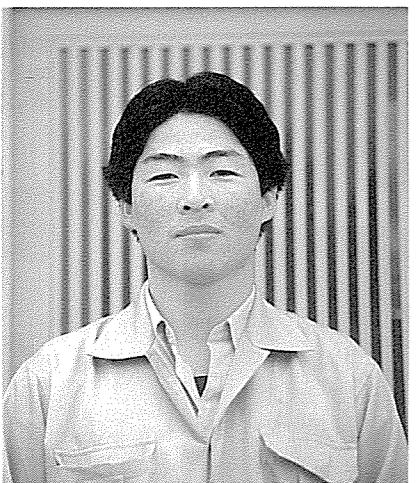
お母さん方による料理教室が5月19日駒ヶ嶺公民館で行われました。この日のメニューは、牛乳コマ豆腐など4品。台所に一人で立つよりも、会話をはずませながらのお料理作りは楽しいでしょうね。毎日、家族の健康を考えながら、おいしい食事を作ってくれるお母さんに感謝をしていただきましょう。

心と心のふれ合い 一人暮らし老人 ふれあいサービス

一人暮らしをしているお年寄りの方の交流をはかり、もっと明るく、楽しく過ごせるようにと、社会福祉協議会による「ふれあいサービス」が5月23日憩いの家で行われました。この日は、日赤奉仕団のみなさんが「お年寄りの方においしいお弁当を食べてもらいたい」と朝早くから作りました。参加された24人の皆さんには、心のこもったお弁当をいただきながら、カラオケを歌ったり、楽しいひとときを過ごしました。



頑張るマン ♠



阿部 好満さん
(21歳・上真弓)

世界に開かれた福島の玄関口、相馬港の鋭いチェックマシンは、見るからに優しそうな阿部好満さんです。小高高校を卒業後、社団法人日本貨物検査協会に入社し、今年で四年目を迎えます。相馬港に入港した運搬物の重さや体積などを、こまかく計算し、念入りに審査するのが主な仕事内容

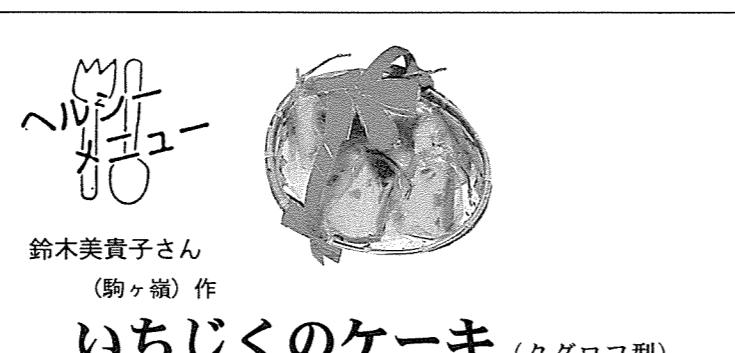
外国を一人で旅をしたい！

容です。気をゆるめると危険につながるので、いつも細心の注意を払って励んでいます。研修のため三年間を東京で過ごし、この春四月に帰郷したばかり。東京にいた時の休日は、映画鑑賞や植物観賞をよく楽しんだそうです。今は、買ったばかりの愛車カリーナで自由自在、好きな所にドライブすることができました。

老人会長を偲びて臨む総会に在りし日の姿眼うらたつ明け暮れて八十九歳夢のうち今日をひたすら畑仕事なす雪柳目覚むる如く咲き盛り人等賞でおり無人の駅に歌友より賜びしこゴミを胡麻に和え夫と二人で匂を味わう作並の残雪踏みて祈りきたる万作咲きて壺にあるる悠久の時代を求めて中国のシルクロードの旅へと行きぬかぜ癒えて窓明け放し如月の暦一枚一氣にはがす
新居建て引越しの朝息子夫婦先祖に香たき拌みてをりぬ
古稀むかへ学びし歌の処女作の活字となりて胸おどりをる
高崎よしの
荒井洋子
村山けい
大須賀しづ
志士
片平ト
小山田つや
門馬篤志
櫻井京子
高崎よしの
荒井洋子
村山けい
大須賀しづ
志士
片平ト
小山田つや
門馬篤志
櫻井京子

町の文さか

新地短歌会



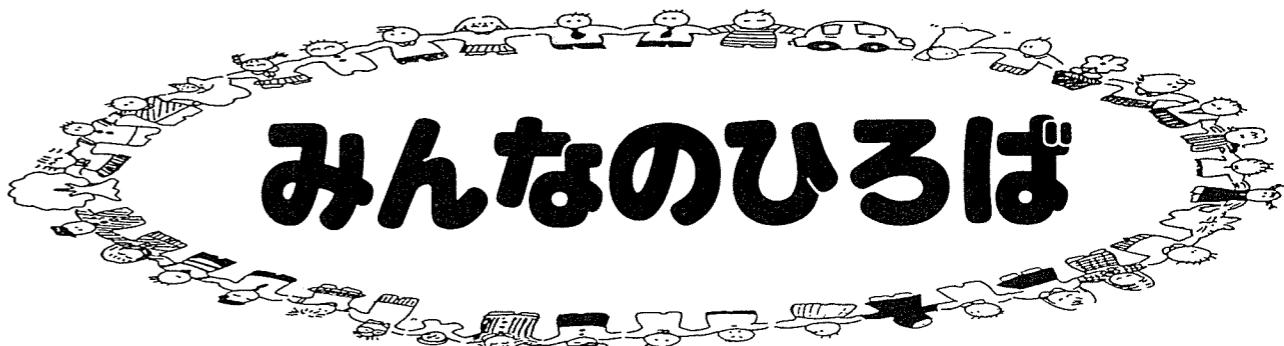
いちじくのケーキ (クグロフ型)

材料

- バター 135g
- ベーキングパウダー 小2
- レモン汁 小2
- さとう 120g
- 卵黄 1コ
- バニラオイル 少々
- 薄力粉 190g
- 全卵 3コ
- いちじく 200g
- コーンスターク 40g
- 牛乳 60g

作り方

- バターをやわらかくしておく。→砂糖を加えてホイップしてレモン汁を入れる。
- 卵を少しづつ入れてホイップする。つやのあるクリーム状にする。
- いちじくに少々の粉をまぶしておく。
- バターの中に粉類を入れて大きく合せる。(薄力粉・ベーキングパウダー・コーンスターク)
- いちじくを入れて軽く混ぜ、牛乳でととのえる。
- 型に流して上面を平にする。
- 180℃のオーブンで30分→170℃ 30分
- 冷ましてから、粉砂糖をふる。

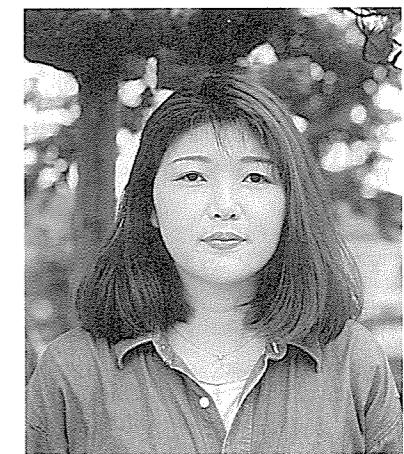


みんなのひろば

今回のさわやかさんは、"動物のお世話を大好き"とおしゃる動物愛好家の長倉昌子さんです。現在はご自宅で料理や手芸などに励み、腕を磨いています。

◇昌子さんが可愛がっているペットはなんですか

動物が大好き！



ながくら 長倉 昌子さん
(埠浜)

☆ミニダックスという犬で、名前は"ミッキー"といいます。
◇得意料理は何ですか
☆ボテトサラダかな。
◇趣味はですか
☆カラオケと手芸です。手芸では、編みものが得意でセーターなどを編みますね。
☆カラオケと手芸です。手芸では、編みものが得意でセーターなどを編みますね。
◇これから始めてみたいことがあります。
☆エアロビクスとゴルフです。よく友だちにゴルフを誘われるのですが、断つてばかりでそろそろ始めたいと思っています。
◇理想のタイプは
☆性格がとてもいい人、顔にはこだわりません。
◇町に対して一言ありますか。
☆みんなが楽しめるような、スポーツ施設を作つてほしいです。

おじいさん おばあさん



水戸正三さん (75歳・新地町)
アキイさん (80歳)

お互い協力して カバーし合う仲良し夫婦

共に連れ添って早や五十年、どんな時も二人はいつも一緒に仲ましくご夫婦でのご登場は水戸正三さん・アキイさんご夫妻です。水戸さんご夫婦は、今までほとんどケンカをしたことがないほど、おしゃべり夫婦。そのことは、近所の方々の評判です。「夫婦円満の秘訣はなんですか」と質問したところ「難しいことはないですよ。お互い協力してカバーし合うことでしようね」などと、お互いの顔を見合わせながら答えてくれました。

五、六年前までは、野菜作

りに精を出していましたが、今ではすっかり引退、庭先の手入れをしたりして日ごろから体を動かしています。待ちわびている毎月一度の老人会には、二人で必ず参加し、ダンスやカラオケなどを楽しんでいます。水戸さんのお宅は八人暮らしの大家族。「二人のひ孫の元気な顔を見るのが何よりも嬉しいです」と、最後までお二人のほほえました。二人の手元で、カバーの霧雨の中、話してくれました。

大運動会

五月晴れに恵まれた五月二十五日、福田小学校と駒ヶ嶺小学校で大運動会が開催されました。いつもとちょっと違う、子供たちの表情を見ることができました。



▶大きな口でガブリ（福）



▲負けるものか（福）



▲やった！（駒）



▲よいしょ（福）



▲緊張の一瞬（駒）



▶がんばって！（駒）

編集後記

「人はいさ心も知らずある」とは花ぞ昔の香にほひける」と、平安時代のある歌人が詠みました。意味は、人の心は時代とともに変化していくけれど、梅の花は、昔のままのかおりで咲き匂っているというようなことです。町の文化財を取材してふと心に浮かんだ歌でした。

多様化してくる人の心、価値観も一人一人違うはずなのに、時代を越えても文化によつて心が一つになる。なんともいいようがない趣きが感じられます。町の文化財を再認識したいですね。(M・H)



浜保育所の おともだち